



2月3日は節分 そして 2月4日の「立春」を迎えます

1月25日(水)は、前夜の降雪と路面の凍結により、市内でも地域によっては交通障害がありました。幸いに深江小学校校区では大きな影響を受けずに済みました。寒さに負けずに集団登校する児童は、元気なあいさつを交わり正門をくぐりました。**(6年生が気持ちの良いあいさつの声を出そうと話し合い、下級生への良き手本となろうと努めています。「凡事徹底」と言われますが、当たり前のことを続けていくことが一番難しく、何事にも、振り返り・反省と励ましの言葉かけが大切のようです。)**



子供たちを出迎えたのは、雪化粧した平成新山。朝日を受けて輝く美しさから、気を引き締められる思いでした。

登校後は、前日に準備しておいたカップに張った氷を手に触れて観察したり、積もった雪を集めて雪合戦や雪だるま作りをして「冬の遊び」を楽しんだりしたようです。

2月3日は節分です。学級によっては、「心の鬼退治」として、自分の思いを書いて掲示しています。心も体も健康で、過ごしてもらいたいと思います。気が付けば、2月4日は立春。木々の芽も膨らみ、また、田畑の植物には緑色が増し、新たな息吹を感じます。

全校朝会:6年生2名の発表 1月16日(火)

1月の学年発表は6年生でした。進行の今井教諭による指導の積み重ねで、整然とした集合・整列、壇上や前に立った人に合わせて礼をする所作についても身に付いてきました。



さんは、卒業までの時間が短くなったので、中学生に向けて頑張りたいことや大切にしていきたいことについて発表。

①これまで以上に勉強に力を入れる(中学校では教科が増え、内容が難しくなる。初めて学ぶことが多いが、小学校での学びが基本となる。) 自分に必要なことは、予習や復習。苦手な部分は、何度も挑戦する。得意なことは、スムーズにできるよう繰り返して解く。次の学習内容にも触れておく。 ②周りの人への気づかいを習慣付ける。高校・社会に出たとき大切である。気持ちのすれ違いもあるので、言葉は大切に使いたい。という2つの内容を発表しました。終末では、「課題は多いが、一つ一つやり遂げていきたい。自分に自信をもって卒業できるように頑張ると述べました。

また、さんは、次の3つのことについて述べました。①漢字を覚える。中学生へのステップとして。②英語にみがきをかける。英語検定の勉強も頑張る。③あいさつ。知らない人と話したり、あいさつをしたりする機会も多いので、苦手な部分を克服して、自分からあいさつできるようにする。中学校への不安もあるが、勉強を頑張ったり自分から話しかけられたりするような中学生になるため、三学期のうちから頑張る。

感想を述べた5年生からは、「中学生になって必要なことを考えている。中学校に向けて頑張ることを発表した。」と感想を述べました。

南島原市教育研究会 音楽部会 4年2組授業より 1月23日(火)

4年2組の堀田教諭が、「音の動きやつながりを考えながら自分たちだけの日本ぽい旋律をつくらう」というめあてで授業を行いました。



- ★曲が続く感じがするのとは?
 - ★曲が終わる感じがするのとは?
 - ★もり上げるように終わる?
 - ★静かに落ち着いた感じで終わる?



つつい他人に頼りがちとなりますが、自力解決

で旋律を作ろうとする子供の姿がありました。自分で作った旋律を3~4名の友達とつなぎ合わせて旋律を作る際、「続く・終わる・もり上げる・静かに落ち着いた感じ」、「近くの音を選ぶと良い」などとアドバイスをしていました。このような授業を受けられる子供たちは幸せだなと感じました。

南島原市PTA連合会 研究大会より ～1月21日(日) 深江ふるさと伝承館～

「困難は変われるチャンス ～2度の困難を経験して見えてきたこと～」

これが、本校PTAの掲げた発表テーマです。近年の新型コロナウイルスの脅威、30年以上前経験した「雲仙普賢岳災害」という困難に直面し、乗り越えてきたことを柱に、(1)小学校の概要(沿革、被災の経験等)、(2)PTA組織(専門部の再編成、本部役員を選出方法)、(3)PTA活動(①本部・専門部[広報部・保健体育部・生活指導部]の実践、②学級部会(ここ2～3年間の実践)について、川田会長様を始め、PTA本部役員の皆様の協力の下、発表していただきました。

「困難が起きた時、それを乗り越える力を持っているのが深江小学校の子供たちである。がまだせ!深江っ子、君たちならどんな困難も乗り越えられる」と締めくくり、エールを送られました。

お忙しい中にも、応援に駆けつけてくださったPTA会員の皆様、ありがとうございました。



3年学級レク(親子パフェづくり) 1月19日(金)

3年生学級部会では、みかど本舗より講師をお招きし、カステラを使ったお菓子作りを親子で行いました。講師の方のお話の中に、カステラの材料の話や工場の中の様子、衛生面で気を付けていることなどを話されていました。その中で、子供の衛生指導・健康指導に活かせる内容がありましたので紹介します。

感染症予防について家でできること

- ①大きな声で「ただいまー!」はマスクをしたままで。 ②家に帰ったら → 手を洗う。
- (3)手を洗ったら → うがい!

うがいは、2種類。①お口の中の雑菌を洗い流す。「くちゅくちゅ」うがい。

②「くちゅくちゅ」「べっ!」してから、「ガラガラ」うがい。

カステラの香りを楽しみながら、小さく刻んでカップに入れました。その上に、生クリームやチョコクリーム等を入れ、思い思いの果物やお菓子等をトッピングして完成。親子のほほえましい一時でした。



学校給食週間 1月24日～30日

給食メニューを見てみますと、「愛のコロッケ」、「かくれんぼカレー」、「やかましいみそ汁」などネーミングの工夫が見られます。給食に関心をもってもらいたいという願いが伝わります。

23日(火)は、給食集会をオンラインで行いました。兼ねてから準備をしていた給食委員会のメンバーが、次の順番で行いました。

- ①給食〇×クイズ(学校給食の始まりとその頃のメニュー、栄養素について)
- ②絵本の読み聞かせ:「食べるのだいすき」
- ③お礼のことは

給食準備に携わっていただいていた、川田さん、堀江さん、西田さん、山崎さんへの感謝状、給食を作っていた給食センターの職員の皆さん、安全に運んでいただいている運転手さんへ感謝の気持ちを込めてカレンダーを作成してお送りしました。

